



鎌倉三田会 会報

第29号

2021(令和3)年3月15日発行
発行人 久保田陽彦
鎌倉市小町2-11-19(株)豊島屋内
<https://kamakura-mitakai.jp/>

コロナ禍における鎌倉三田会

会長 久保田陽彦

新しい生活様式が提案される中、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。まずは医療従事者の方々、そしてこのコロナ禍においてご尽力されている皆様に心より感謝申し上げます。鎌倉三田会においても、この状況下でなかなか集まることが出来ず、何かとご迷惑をお掛けしていると思いますが、ご容赦頂ければ幸いです。

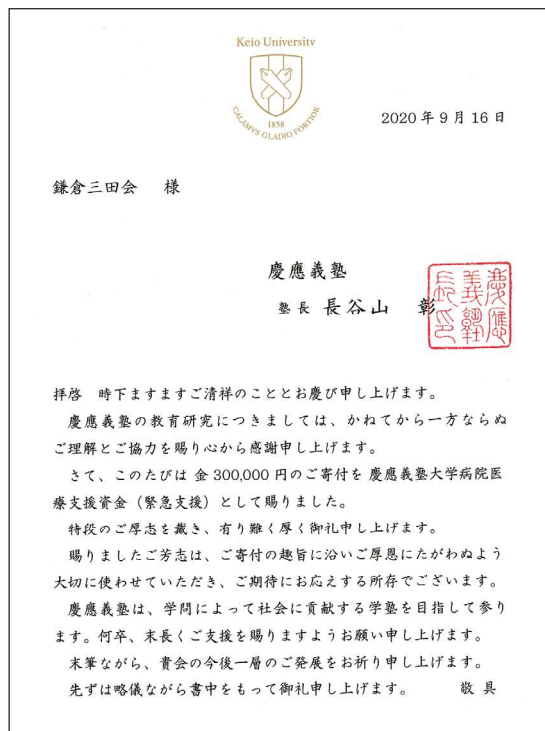
昨今はリモートによる会合等が増え、鎌倉三田会においても新しい形での楽しみ方を模索しているところです。親睦会を含めどのような形で運営すべきか、より良い方法をみんなで考える時だと思っています。また、このような時だからこそ、鎌倉三田会だけでなく、慶應社中が結束すべきだと私は思っています。

そのコロナの影響により、長い鎌倉三田会の歴史の中、初めて書面決議での総会を開催致しました。お陰様で第1号議案から第5号議案まですべて可決されました。ありがとうございます。ここで改めて御礼申し上げます。

さて、会員の皆様からご意見ご質問がございましたのでこの場をお借りして説明させていただきます。

まず家族会の予算が多すぎるのではないかとのご意見を頂戴しました。基本的に参加される方々からの会費でまかなうような形で行っています。参加者の人数の関係上、不足分を本会計から計上させて頂いております。具体的に言うと、バス代に使わせて頂いております。現状は20名~25名程度の参加でございますので、もっと参加者が集まればおそらく参加者様の会費だけで運営出来ると思います。例年このような形で行っていましたが、問題があるならば、今後は中止も踏まえ再考させて頂きたいと思っております。

また、寄付金の宛先についてのご質問もございました。前回の会報にも載せましたが、例年、連合三田会の大会券を購入していたのに昨年度は連合三田会が開催されず、大会券も購入しなかったため、その分も含め慶應義塾の「慶應義塾大学病院医療支援資金」へ寄付させて頂きました。



慶應義塾 長谷山彰塾長からお礼状をいただきました

本年度もオリンピック開催を含め、どのようになるのか判断つかぬ状況です。

鎌倉三田会としては、福澤先生のお教えのように、色々な意味でフレキシブルに対応していきたいと思っております。本年度も皆様方のお力で、鎌倉三田会を宜しくお願い申し上げます。